

私たちは、地域住民の心と身体を健康をささえる病院として
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

青葉の風

みなさん、こんにちは。3月の風が少し暖くなり心地よい季節になりました。
今回も八幡青樹会病院の季刊広報誌「青葉の風」第23号をお届けいたします。

～ 八幡青樹会病院ニュース ～



ポエム『真心』のご紹介☆



あなたはあなた、私は私
でも あなただけが悪いわけではないわ
あなたにも良い所があって、また悪い所があるけど
そう言う 私にも悪い所も 良い所もあるのかな？
でも何もあなただけではいいわ 悪いのは だからもう
そこまで 自分を責めて人もまたけなさないでね
そして「うん」
今、あなたが解ってくれたのは、お金では買えない
大切な私の真心。



このポエムは、作業療法に参加されている女性患者様の作品です。

彼女は絵やクラシックなど芸術を愛する40代の女性です。作業療法の活動で、いつも熱心にノートに書き物をしておられました。ある時、何を書いているのかお聞きすると、「ポエム」と少し恥ずかしそうに見せてくださいました。ポエムについてお話しているうちに、「作品をみんなに見てもらいたい」と希望されるようになりました。そこで今回、お気に入りのポエム『真心』を皆様にご紹介することになりました。人との関係に悩む日々の中で見つけた、一瞬の幸せを詠っておられます。

ご感想などございましたら、ぜひお聞かせください。

作業療法士 坂口景子



※ 当院行事食のご紹介 ※

当院栄養管理科では病院の給食で季節を感じていただけるような行事食を提供しています。正月には赤飯とおせち料理、節分には鰯と節分豆、春分と秋分の日にはお汁粉、子供の日にはちらし寿司、七夕には素麺、秋には松茸ご飯、クリスマスにはケーキ等を提供しています。患者の皆様も行事食を楽しみにされていて、行事食の日が近づくと、楽しみにしているとお声を掛けて下さいます。病院給食の特性上、提供を控えている料理・食材もありますが、今後も患者の皆様喜んでいただけるよう季節感のある安全で安心な行事食の提供を目指します。



栄養科より



東近江地域精神障害者退院促進事業研修会を開催いたしました。

医療法人清心会 山本病院の精神科認定看護師松本健児氏を講師にお招きして「山本病院における取組み～地域移行支援と看護の役割～」という演題でご講演をいただきました。長期入院患者様の地域移行支援についての取組みとして、看護師が新しい視点から自ら立ち上がり、病院主に病棟内での「退院促進」に対する意識改革を行い実践された経緯についての講演でした。なんとか退院という目標に寄り添えないか、何もできない思いが退院促進を検討する1つのきっかけであったようです。その結果、多職種による退院促進チームを結成され、いろいろな事例に取り組まれています。

当院においても病院全体として取り組む姿勢とスタッフ個々の意欲が大切であると思います。また、地域の各種関連機関と連携も当然必要となりネットワークの構築が大切です。現実味があり実務レベルにおいて効果的な内容でした。東近江地域関連機関からのご参加もあり合計40名参加にて終了いたしました。



デイケアで「自分のここが嫌い」じゃなくて、「ここが好き」を探してみませんか？

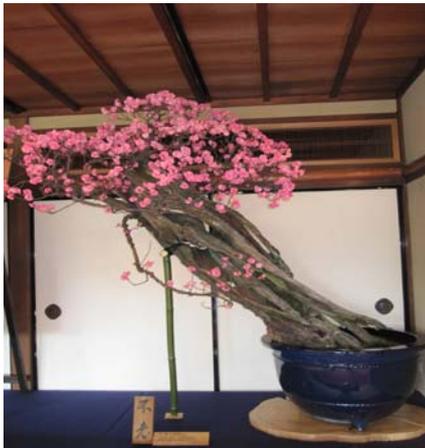
～ 当 院 デ イ ケ ア 紹 介 ～

デイケアの主人公はあなたです！ここでは、メンバーやスタッフが様々な活動を通して仲間作りや楽しみを見つけると共に、人との付き合い方や生活リズムを作る力などを身に付けていきます。

人と話す事が苦手で、引っ込み思案になってしまう、毎日の過ごし方が分からなくて困る、友人が欲しい...病気の再発が心配などなど...こんな思いを抱えて生活されていませんか？

デイケアでは、生活と健康の安定を図り、あなたが目標を達成出来るよう取り組んでいます。

興味のある方は、主治医又はデイケアスタッフまでお気軽にご相談ください。 見学もお気軽にどうぞ



☆デイケアプログラムで盆梅展に行ってきました

先日、長浜盆梅展に行ってきました。

皆で綺麗な盆梅を見ながら和やかに見学していると...なんと！！！！

この梅は400歳だそうです！！

迫力ある盆梅からパワーをもらった気がします！！！！

八幡青樹会病院 精神科デイ/ショート・ケア歩° 歩°

開所時間 9：00～16：00 開所曜日 火・水・金・土

(祝日休み・場合により前後する事があります)

担当 木村・南



心のエッセイ・・・「墓参り」

八幡青樹会病院 看護部 山本晋暮

〈僕は靈感もなければ、そういった類の話は一切信じていない。目に見えないものは存在しないと思っている〉

二年前に墓参りに行った日の出来事である。そこで奇妙な体験をした。滋賀県から車で何百kmと走り、そこからさらに山道へ入る。ひたすら走ると山の中腹に霊園がある。その日はあいにくの曇り空でどんよりとした天気だった。早速墓前に座り手を合わせる。その瞬間、空が割れ、まるでスポットライトを浴びたかのような光が差し込んで、そこから局所的に雨が降った。しばらくその奇妙な時間を過ごしていた。そしてまた元通りのどんよりとした曇り空に変わった。

なんだか嘘臭い話だけど、「きっと何か伝えたい思いがあるのだろう、それが精一杯の雨を降らせたに違いない」そう思わずにはいられなかった。「わざわざ遠い所から来てくれたね」と感謝してくれているのか、それとも「ずいぶん長い間放っておいてくれたな」と悲しんでいるのか。

どちらにしても捉え方だけど、普段生活している中でも考えや思いはうまく伝わらなかつたり、「そうじゃないんだけど」って違う意味で人に伝わったりする。もしかしたら、そこに存在がなくても同じことで悩んでいるのかなあ。

それ以来、まとまった休みが取れれば墓参りには欠かさずに行っている。少なくとも悲しませることのないように。